

向陽台小だより

6 月 号

令和2年6月1・2日
富田林市立向陽台小学校

あせ すこ ちゃくじつ
焦らず、少しずつ、着実に

こうちょう こむら かつとし
校長 古村 勝俊

さわやかな初夏の風を感じながら、校門で子どもたちを見送っていたときの事です。
大きなランドセルを背にした1年生が、「こうちょうせんせい」と、笑顔で駆け寄ってきました。「1年生だったのいいー!」と、新しい友だちと一っしょに遊んだことを、とてもうれしそくに教えてくれました。

感染症対策をのしたの新しい学校生活が始まって2週間。マスク姿の子どもたちは先生方の指導の下、新しいルールに慣れようと頑張っています。

「できるかな?」、「えらい!」、「うちでもできそう?」。校内を回ると、どの教室にも、子どもたちに柔らかなまなざしを注ぎ、子どもを励ます先生方の姿があります。そして、それに応えるかのように、先生の話に聞き入る子どもたちの姿があります。

子どもたちを思う強い気持ち、使命感、そして、子どもたちを迎えるにあたり周到に準備を進めてきた教職員みんなの努力あってのことだと、頭が下がる思いです。

保護者の皆さまには、この間の学校のさまざまな取組みに、ご理解とご協力をいただき、学校を応援していただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

すでにお知らせしましたように、本市では、今月15日からの本格的な学校再開に向け、本日よりスタートアップ期間に入ります。この2週間で少しずつ学校で過ごす時間を長くしながら、元の学校生活に戻していくこととなります。

感染症対策や熱中症予防に関わるお願いごとも多くなるかと思いますが、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

子どもたちが安心して学び、笑顔で学校生活を送れるよう、子どもたちの心と身体の状態に気を配りながら、教育活動を前へ進めてまいります。焦らず、少しずつ、着実に。「今日も学校たのしかったー!」と、子どもの笑顔に出会える喜びを感じながら。